

## よりよい宮小学校をつくるためのアンケートから25年度 (自校アンケート集計結果の概要)

( ) 内は昨年度の割合

### (1) 子どもたちのアンケート結果から

- ①「学校はとても楽しい・楽しいと思う」の回答は、1年生では90% (99%)、2年生91% (87%)、3年生94% (93%)、4年生は96% (92%)、5年生92% (92%)、6年生91% (84%)である。
- ②「友達と仲良くしているか」1年生は92% (99%)、2年生95% (92%)、3年生95% (94%)、4年生96% (95%)、5年生96% (97%)、6年生95% (98%)である。どの学年も高い。
- ③「毎日の勉強が分かるか」に対しては1年82% (88%)、2年生83% (70%)、3年80% (83%)、4年生81% (74%)、5年生86% (80%)、6年生80% (79%)がわかると答えている。
- ④「気持ちのよい挨拶ができるか」では、1年生87% (83%)、2年生91% (88%)、3年生86% (83%)、4年生73% (74%)、5年生88% (74%)、6年生78% (72%)である。4、6年生が自分に厳しい評価である。
- ⑤「掃除をいっしょうけんめいしているか」では1年生90% (93%)、2年生95% (93%)、3年生86% (88%)、4年生82% (84%)、5年生97% (78%)、6年生87% (87%)である。自己評価では、学年があがるにつれて5年生以外自分に厳しい評価である。
- ⑥「いのちを大切に、学校や社会の決まりを守っているか」(3~6年生のみ回答)では3年生84% (86%)、4年生84% (86%)、5年生89% (76%)、6年生83% (88%)である。5年生の自己評価は高い。
- ⑦「家族に学校のできごとをよく話す」では「とてもそう思う、そう思う」の合計は1年生73% (75%)、2年生70% (60%)、3年生81% (79%)、4年生84% (79%)、5年生84% (69%)、6年生71% (64%)である。昨年度に比べ話すようになってきている傾向にある。
- ⑧「給食の時間は楽しみだ」では「とてもそう思う、そう思う」の合計は1年生94% (95%)、2年生87% (77%)、3年生91% (89%)、4年生88% (79%)、5年生86% (80%)、6年生81% (66%)である。全学年とも8割以上が楽しみにしているようである。

子どもたちは、「友達と仲良くしているか」については、全学年とも90%をこえている。  
また「学校は楽しいか」についても全学年とも90%をこえている。「毎日の勉強が分かるか」についても、今年度は80%以上になってきている。

### (2) 保護者のアンケートから (学校に対して)

- ①「学校は学校の教育活動や子どもの様子を、保護者に分かりやすく伝えているか」「とてもそう思う、そう思う」が70% (68%)、「そう思わない」「あまり思わない」を合わせると28% (30%)

である。

- ②「学校は、子どもにわかりやすい授業をくふうしているか」では、75% (75%) が「とてもそう思う、そう思う」と答え、否定的な意見は17% (17%) である。
- ③「学校は子どもの安全確保・健康管理の取り組みを十分におこなっているか」81% (72%) が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。反対に否定的な意見は13% (19%) である。
- ④「学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいるか」という問では、64% (58%) が「とてもそう思う、そう思う」、「あまりそう思わない」が19% (22%) 「思わない」が5% (4%)、「分からない」が12% (16%) となっている。
- ⑤「子ども一人一人が大切にされ、認められる小学校になっているか」では、「とてもそう思う、そう思う」が63% (62%) であるが、「あまり思わない」が20% (21%) 「思わない」4% (4%) 「分からない」は12% (12%) ある。
- ⑥「学校は、子どもに生命を大切にす心や、社会のルールを守る態度を教育しているか」73% (73%) が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。否定的な意見は18% (14%) である。
- ⑦「家庭・地域は、小学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携協力しているか」では66% (66%) が「とてもそう思う、そう思う」と答えている。否定的な意見は26% (23%) である。

保護者の学校評価で厳しいのは、「いじめをなくす学級・学校づくりに取り組んでいるか」という問いである。肯定的な意見は63% (58%) しかなく、否定的な意見は24% (26%)、分からないは12% (16%) と高くなっている。また「子ども一人一人が大切にされ、認められる小学校になっているか」については、63% (62%) が肯定的、否定的な意見は24% (25%)、分からないが12% (12%) である。

### (3) 保護者のアンケートから (自分の子どもに対して)

- ⑧「自分の子どもが毎日楽しそうに小学校に通っているか」という問いには、92% (95%) の保護者が「とてもそう思う、まあそう思う」と答えている。
- ⑨「子どもは学習内容がわかり、基礎的な学力が身についているか」という問いに対しては、82% (82%) が「とてもそう思う、まあそう思う」にとらえている。16% (17%) が「あまりそう思っていない」で、4% (1%) が「思っていない」
- ⑩「子どもは、小学校での出来事をよく話す」が「とてもそう思う・まあそう思う」が74% (78%)。
- ⑪「子どもは、だれにでも挨拶ができている」が「とてもそう思う・まあそう思う」が61% (63%)。
- ⑫「子どもは、給食の時間を楽しみにしている」が「とてもそう思う・まあそう思う」が80% (80%)。

教職員のアンケートで (36の質問項目のなかで回答は比較的良好であるが、「あまりそう思わない」と回答した割合が多い項目をあげてみると)

- ・「児童一人一人が自主的に活動できている」については「とてもそう思う」「そう思う」

合わせて85%（91%）であり、「あまりそう思わない」が15%（12%）となっている。

- ・「保護者や地域の学校への理解は得られているか」について、「あまりそう思わない」が21%（15%）ある。
- ・「保護者や地域への情報発信は十分にできているか。」について、「あまりそう思わない」が12%（15%）ある。

教職員の回答は比較的肯定的であるが、特に「あまりそう思わない」と回答している項目についての取り組みの改善が必要である。